

## 式 辞

新しい春の訪れを感じる今日の佳き日に、ご来賓並びに卒業生保護者の皆様方の祝福と励ましの中、第七十四回北海道室蘭清水丘高等学校卒業証書授与式を挙行できますことを、心よりお礼申し上げます。

また、保護者の皆様には、お子様の晴れの卒業に心からお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに改めて厚くお礼申し上げます。学校としても立派に成長した卒業生を送り出せることを大きな誇りに思っています。

さて、ただいま卒業証書を授与されました百四十名の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。皆さんは、中学三年生の時に新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、学校生活でも一斉休校の措置が取られました。日常生活では、マスクをすることが当たり前になり、分散登校等、今までの生活が一変し、そんな中での高校受験、不安がたくさんあったことと思いますが、晴れて本校の門をくぐりました。

しかし、入学後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた高校生活で、制限はあったものの学習活動、学校行事、部活動にと青春のエネルギーを燃焼させてくれました。特に、三年生になっての清風祭は、制限が解けた中での取組であり、何をどう進めて良いか迷いながらも三学年のリーダーとして後輩たちを引っ張り、思い出に残る素晴らしい清風祭を作り上げてくれたこと、感謝いたします。

このように功績を残してくれた皆さんの三年間の努力に心より敬意を表するとともに、皆さんにとって、これから社会で生きていくための必要な大きな力になるものだと考えます。

卒業生の皆さんは、民法の改正に伴い既にほとんどの人が成人となっています。社会的にも大人としても扱われます。そんな意味でも新たなスタートを切るわけがありますが、その輝かしい門出に際して、皆さんに期待したいことが三つあります。

一つ目は、これからの日本を作っていくのは皆さんだということです。日本では若者の政治離れが叫ばれています。実際、選挙の投票率では、世界各国と比較するととても低い数値であるのが現状です。このことは、日本の政治に期待ができないという表れかもしれませんが、自分達の責任で日本を動かすんだという気持ちを持ってもらいたいと思います。今年度の夏は、猛暑でした。授業中とても暑いので制服を何とかしてくださいと、一人の生徒の声で学校が動きました。当然、できることとできないことはありますが、声や行動に出すということは大切なことです。是非、将来の日本に向けて、自分達、自分の子ども達、孫達、その先の人達のことを考えて日本を創っていく人となって欲しいと願っています。

二つ目は、困難を乗り越える強い心を持ち、協力して課題を解決する行動力のある人になって欲しいということです。

それぞれの人生を歩む上で、今までに体験したことのない困難や簡単には答えを出せないこと、解決ができないことに遭遇することもあるかと思えます。その様なときには、皆さんが本校の三年間で学んだ知識や技能、思考力や判断力、表現力、さらに、自ら進んで参加したボランティア活動での体験、先輩や後輩と協力して取り組んだ部活動など全てを通して培った、強い心を持って、困難を乗り越えていただきたいと考えます。失敗を恐れることなく、自分の可能性を信じ、限界を作らず挑戦し、グローバルで持続可能な社会の担い手として、成長し続けて欲しいと思えます。

三つ目は、思いやり溢れる心豊かな人となって欲しいということでもあります。

人は、文字のとおり人と人が支え合うこと、「愛情」や「思いやり」で支え合うことによって、初めて心豊かな人生を送っていけるものだと考えます。人生に「喜怒哀楽」はつきものですが、独りよがりではなく、感動を分かち合ってこそ豊かな人生が歩めるものです。希望が叶えられた時、なすべき成果が達せられた時、人のために役立った時など、そのことが自分だけではなく、ご両親をはじめ家族、さらには友人や知人の喜びであるとき、大きな充実感が得られるものでしょう。巡り会う人たちの為になる生き方、さらには、所属する場所の発展に寄与したり、後に続く人のためになるとするならば、これ以上のものはないと思えます。

この先、この三つを実践するに当たり基本となるものは、何といても心身共に健康であることです。健康管理には十分留意して下さい。

卒業生の皆さん、どうか、今まで自分を支えてくれた、御両親、友人、先生方、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、室蘭清水丘高校の卒業生としての自覚をもって、校訓「清風萬里」の言葉のように、さらなる飛躍を遂げて下さい。本校での学びを基盤にそれぞれの夢の実現を目指して努力を重ね、幸せな人生を過ごされるよう願っております。

結びになりますが、今日から室蘭清水丘高校は皆さんの母校であり、心の故郷であります。どうか折に触れ、後に続く後輩やこの学び舎、母校の発展を見守っていきましょう。

たくましく成長した卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、また、これからの大いなる健闘を期待するとともに、本日ご来臨を賜りました皆様のご健勝をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和六年三月一日

北海道室蘭清水丘高等学校長 深澤 健